

令和7年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施 策	25 交通安全 ー交通事故のない、安全なまちを目指しますー		
重点プロジェクト				
総合戦略		安全・安心な暮らしを守るとともに、デジタルの力を活用した魅力ある地域を構築する		
主 管 課	都市政策部 道路課	評価責任者		山風呂 敏
		評価日		令和8年6月2日
関 連 課		学校教育課		
目 標		事故死者数に占める高齢者の割合が高いことや自転車による交通事故が多いことなどを踏まえ、更なる交通安全対策を進めます。また、円滑な通行の妨げとなる放置自転車の解消に向けた取組を引き続き実施します。		
施策目標の実現 に向けた取組		(1) 交通安全意識の醸成 ○交通安全の啓発、交通マナーの向上を促進します。 ○スクエアード・ストリート教育技法による交通安全教室など、より効果の高い交通安全教育を推進します。 (2) 生活道路の安全対策の推進 ○「ゾーン30」など、生活道路における交通安全対策を推進します。 ○安全な自転車通行環境の整備を推進します。 (3) 交通安全施設の適切な維持管理 ○交通安全施設の適切な維持管理、修繕を実施します。 (4) 放置自転車の解消 ○放置自転車禁止区域における放置自転車の解消を図ります。 (5) 自転車通行空間の整備 ○自転車による移動の安全性、快適性、利便性の確保を実現するために、自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間を整備します。		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	自転車事故による負傷者数 ※減少を目指す指標							
		説明	自転車事故による負傷者数減少を目指し、警察や各団体と連携して啓発活動を展開した。さらに、令和8年4月開始の自転車交通反則通告制度導入に向け、警察や交通安全の会と協力して啓発イベントを実施した。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	65	65	65	65	65	65	65	
		実績値	50	89						
	指標2	指標名	ゾーン30の指定箇所数（累計）							
		説明	市内の住宅密集地に警察と協力して最高速度を30km/hに規制する区域を指定し目標を達成した。							
		単位	箇所							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	5	5	6	6	6	7	7	
		実績値	5	5						
	指標3	指標名	放置自転車禁止区域における放置自転車撤去台数 ※減少を目指す指標【総合戦略】							
		説明	周知看板等で放置自転車禁止区域の周知を行ったことにより、放置自転車撤去台数の減少につながり目標を達成した。							
		単位	台							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	450	440	430	420	410	400	390	
		実績値	389	370						
	指標4	指標名	自転車通行空間整備延長（累計）							
		説明	平成30年度に策定した自転車ネットワーク計画に基づき、令和7年度は市道幹線1号線のJAいるま野福岡支店から約450mの区間で自転車通行空間路面標示設置工事を実施した。							
		単位	k m							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	3.80	4.30	4.80	5.30	5.80	6.30	6.80	
		実績値	3.82	4.30						
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	141,113	141,512	148,912	0	0	0	0
	人件費	44,687	45,847	45,845	0	0	0	0
収入	特定財源	5,693	5,636	12,994	0	0	0	0
	一般財源	180,107	181,723	181,763	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	交通安全広報活動の実施及び交通安全施設の維持管理	交通事故の減少に向けて、埼玉県警察及び各種団体と啓発活動を実施した。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕等を実施した。	市役所窓口や交通安全街頭活動などで、交通安全運動の啓発品を配布し、市役所周辺道路にのぼり旗の設置を行った。主な交通安全施設の修繕及び設置の内訳は、道路反射鏡修繕を38箇所、防護柵修繕を16箇所実施し、自転車事故等の防止を図った。	交通安全推進事業（一部）
取組②	ゾーン30の設置	ゾーン30区域指定した箇所の交通安全施設の維持管理を実施した。 駒西地区のゾーン30プラスエリアにおいて、埼玉県警察によるゾーン30プラスの標識設置と市による路面標示設置を行った。	ゾーン30指定区域内における重大事故の発生は確認されなかった。 また市内における死亡事故ゼロ日数を令和8年3月31日時点で778日を更新し、埼玉県内の市の部では1位となった。	交通安全推進事業（一部）
取組③	放置自転車禁止区域内の自転車撤去及び市営自転車駐車場の管理運営	上福岡駅及びふじみ野駅周辺に放置された放置自転車の撤去作業を実施した。 指定管理者による自転車駐車場の管理運営に係る管理指導を実施した。	放置自転車撤去は、上福岡駅周辺は172日、ふじみ野駅周辺は12日、合計184日実施し、令和7年度の市内における撤去台数は370台で目標を達成した。	自転車対策事業 自転車駐車場管理運営事業
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	東入間交通安全対策協議会を通じて交通安全広報活動を推進するとともに、自転車交通反則通告制度に関する講習会イベントを埼玉県警察及び交通安全の会と連携して開催し、市民の交通安全意識の向上を図った。 また、市内全小学校において埼玉県警察と連携し交通安全教室を実施し、中学校ではスクエアドストレイト方式による交通安全教室を開催し、児童・生徒の交通安全意識の啓発に努めた。 さらに、平成30年度に策定された「自転車ネットワーク計画」に基づき、令和7年度に幹線1号区間において自転車通行空間を示す路面標示の設置工事を行った。また、市内の駅周辺においては放置自転車撤去作業を実施するとともに、放置自転車禁止区域に関する周知活動を進めた結果、放置自転車の撤去台数減少につながった。 加えて、駒西地区の「ゾーン30」指定エリアにおける交通安全対策として、令和5年度には「スムーズ横断歩道」を活用した実証実験を実施し、速度抑制効果を確認し、令和6年度にはスムーズ横断歩道の本格設置を実施した。これにより、駒西地区のゾーン30エリアは、物理的デバイスによる速度抑制が行われる「ゾーン30プラス」となるため、令和7年度には、埼玉県警察による「ゾーン30プラス」標識の設置及び市による路面標示の設置を実施し、交通安全環境のさらなる向上を図った。 これら一連の施策を通じ、地域の交通安全環境の改善を推進し、市民の安心・安全な交通生活の確保に寄与するとともに、引き続きその向上に取り組むものである。
順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	